

「神話博しまね」に対する企業協賛について

神々の国しまね実行委員会

「神々の国しまね」プロジェクトの全体概要

平成24年「古事記編纂1300年」 平成25年 出雲大社「平成の大遷宮」

- ① この歴史的な節目は、「しまね」が全国から脚光を浴び、神々の時代から受け継がれてきた「しまね」の魅力を、多くの方々に知っていただく絶好の機会。
- ② いにしえから古事記・出雲国風土記・万葉集などに描かれ、今もこの地に残る自然、景観、伝統文化、歴史遺産など県内各地域の資源を活用。
- ③ 県・市町村・経済界等が一体となって「しまね」の存在感を情報発信し、国内外から多くの方々に訪れていただくためのプロジェクトを展開。
- ④ 県民一人ひとりに郷土の素晴らしさを再発見いただき、ふるさとへの愛着と誇りにつながるよう、広く県民の参画を得ながらプロジェクトを推進。

■ **期 間** 平成22年度から平成25年度まで

■ **ね ら い** 観光誘客のためのキャンペーンや集客イベントに加え、観光・旅行スタイルの構造的変化（物見遊山のビギナー型 → ゆったりじっくり滞在を楽しむリピーター型）に対応できるような「**地域の魅力づくりとおもてなし**」

■ **事業構成**

- ① 神話をテーマとした**ブランド・イメージ創出**
- ② ふるさと再発見の**県民運動**
- ③ 県民参加による**地域の魅力づくりとおもてなし**
- ④ 素材を旅行商品化する **destinations・マネジメント**
- ⑤ プロジェクト全体の**シンボル事業としての「神話博しまね」**

■ **数値目標** （平成22年度から25年度までの4年間累計）

- ① 観光入込客延べ数（累計）で、概ね500万人増を目指す
- ② 観光消費額（累計）で、概ね200億円を目指す

■ **事業費** 全体額 25億円程度を想定（県・市町村・経済界等の負担合計）

■ **推進体制** 平成23年3月15日、「神々の国しまね実行委員会」を設立

- ① 県・市町村・経済界等で構成（会長：溝口善兵衛知事）
- ① 実施本部職員62名（県・市町村・観光連盟・山陰合銀・JTB 等）

「神話博しまね」に対する企業協賛のお願い

■ 企業協賛の趣旨

プロジェクトに対する経済界等の御協力につきましては、①「神話博しまね」のシンボル性、②費用負担に見合う露出機会等の企業メリットを考慮し、「神話博しまね」への企業協賛としてお願いいたしたいと考えております。

■ 露出機会の提供

神々の国しまね実行委員会では、来年7月開幕の「神話博しまね」に向けて、今後、全国・県内をターゲットとする各種プロモーション活動を本格化させます。

その際、公式ガイドブック・ポスター・チラシ等の印刷媒体や Web サイト等において、協賛企業様の露出機会の創出を予定しております。また、「神話博しまね」の特設会場においても、様々な方法による露出機会を予定しております。

■ 企業協賛の募集

企業協賛の募集につきましては、実行委員会から「神話博しまね」の企画運営を委託した下記コンソーシアムが担当いたします。露出機会の具体的な提供方法などにつきましてもご相談を承りますので、お問い合わせください。

【企業協賛に関するお問い合わせ先】

「神話博しまね」コンソーシアム

代表 (株) T S K エンタープライズ TEL 0852-31-0155

FAX 0852-27-8000

E-mail shinwa@tsk-ep.com